

山梨県埋蔵文化財センターが収蔵管理する資料を活用してみませんか？

近年、山梨県埋蔵文化財センターでは収蔵庫内の膨大な資料の再整理を行い、これまでに貸出資料として土器、木製品の修復・復元を行ってきました。

今回これらに金属製品が加わります。

発掘調査で見つかる金属製品はさびて大変もろくなっており、保存処理をすることで展示等できます。実物資料の貸出はなかなか難しいので、復元品を制作し貸出資料としてご用意しました。

貸出資料1

青銅鏡(せいどうきょう)
直径15cm / 重さ588g



復元した資料

鼈龍鏡(だりゅうきょう)
〈甲斐銚子塚古墳出土 甲府市〉

ちよこっと言

鏡は簡単に割れてしまいます。取り扱いには十分注意をしてください。

ところで、弥生時代末は鏡が大変貴重なものだったので、1枚の鏡を割って分配することもありました。

※資料紹介のなかに再利用した製品があります。見てみてくださいね。



貸出資料2

鉄斧(てつぷ)
長さ22cm(刃の部分)

復元した資料

板状鉄斧
〈甲斐銚子塚古墳出土 甲府市〉



貸出資料3

鎌(かま)
長さ18cm(刃の部分)

復元した資料

鎌(かま)
〈東山北遺跡出土 甲府市〉



復元品は実際手にとってご覧いただけます。写真や離れてみただけでは分からない、質感や本来の姿が分かりやすくなると思います。

※パンフレットに紹介されていない他の貸出資料もあります。ホームページに順次掲載していきますので、そちらもぜひご覧ください。

すでにこれらの貸出および案内をしています



貸出キット

5つのケースに土器などをセットにして収納してあります。目的に合わせてケースを選んでいただけます。資料の出し入れが簡単です。



貸出案内パンフレット

貸出可能な資料の案内をのせてあります。その中から目的に合わせて資料を自由にお選びいただけます。

資料を借りてみようと思ったら！

まずはお気軽にセンターへお問い合わせください。ホームページにも詳細を載せています。問い合わせ先は最後のページをご覧ください。 ※貸出の対象は県内の学校および教育機関です。